

第17回宝塚市手話言語施策推進会議 議事録

日時：令和7年（2025年）2月3日（月）18：30～20：30

場所：宝塚市役所 3階 3A会議室（旧2－3会議室）

【次第】

(1) 令和6年度事業報告について【資料1】

ア 手話講座関連（市民向け及び職員向け ほか）

イ 図書館との共同作業

①手話による絵本の読み聞かせ「手話で楽しむ絵本の世界」

②絵本を使った手話指導「絵本で楽しむ手話の世界」

ウ 宝塚市手話言語条例パンフレットの配布

エ 手話言語の国際デーライトアップ

オ 手話言語の国際デーイベント

カ 宝塚市手話言語講演会【資料2】

キ 仕事始めの式典

(2) 宝塚市手話月間(3月)について

ア 令和6年度宝塚市手話月間の取組（案）【資料3】

イ 令和5年度宝塚市手話月間のチラシ【資料4】

【参考資料】

- ・資料1 令和6年度手話関連事業報告
- ・資料2 宝塚市手話言語講演会チラシ
- ・資料3 令和6年度宝塚市手話月間の取組（案）
- ・資料4 令和5年度宝塚市手話月間チラシ
- ・資料5 第16回宝塚市手話言語施策推進会議議事録
- ・資料 宝塚市手話言語施策推進会議委員名簿
- ・資料 宝塚市手話言語施策推進会議設置要綱
- ・資料 宝塚市手話言語講演会関係資料
- ・資料 第4回宝塚市手話言語発表会関係資料

【出席者】

委員 関西学院大学人間福祉学部 非常勤講師 平 英司

宝塚手話サークル連絡会 代表 松原 理恵

宝塚市身体障害者福祉団体連合会 会長 志方 龍

宝塚ろうあ協会 会長 加藤 めぐみ

宝塚市教育委員会事務局 特別支援教育担当副課長 高橋 範充

【欠席者】

宝塚商工会議所 中小企業相談所 所長 胡中 美伸

※順不同

【協議録】

(事務局)

本日はお忙しい中、ご出席をいただきありがとうございます。本会議の趣旨を説明します。本会議は、宝塚市手話言語条例第6条の規定に基づき、市が推進する施策の実施状況、見直し等について、広く市民、事業者、知識経験者の方々に意見をお聞きするために開催をするものです。それでは、以降の進行は、委員長をお願いします。

(委員)

議題に入ります。事務局から報告をお願いします。

(事務局)

議題(1) 令和6年度事業報告については、説明を省略しますが、少し目を通していただく時間を設けたいと思います。力の宝塚市手話言語講演会につきましては、追加資料をご確認いただき、ご審議をお願いいたします。講演会の当日の集合時間ですが、施設予約の都合上、前日準備ができませんので、10時に集合し、会場の設営を行いたいと思いますが、いかがでしょうか。シナリオ等も2年前のものをベースに作成しておりますので、ご確認ください。

(委員)

追加資料をご確認いただいたうえで、何かご意見等ありますか。

(委員)

当日は別用で、お手伝いできません。午前中の準備のみお手伝いできます。

(委員)

後に座る方が、講師の手話が見えないと思いますので、講師の手話を拡大して見られるような用意はできますか？

(事務局)

今回も2年前と同じように手話を拡大して映しだします。

(委員)

2年前も思ったのですが、講師の手話とスクリーン上の手話では、時間差があり、少し遅れて表示されます。そこは解決できないですか。

(委員)

機械の性質上、仕方のないことです。

(委員)

2年前のビデオ録画担当が今回は参加できないとのことなので、どなたが対応しますか？

(事務局)

役割については、再調整します。

(委員)

椅子は、当日に並べなければならないですか？

(事務局)

通常仕様での椅子は、既に並べてありますが、講演会用に車椅子席を設けたり、追加の椅子、看板等の準備をする必要があります。

(委員)

ある程度の椅子は並べてあって、微調整するということですね。

(委員)

講師さんの講演の様子をビデオ撮影して、また YouTube にあげたりしますか？

(事務局)

講師さんの意向も確認の上で判断します。

(委員)

それでは、議事（２）について、事務局から説明をお願いいたします。

(事務局)

議事（２）の宝塚市手話月間について、資料３の「令和６年度宝塚市手話月間の取組（案）」と資料４のチラシをご確認ください。実施する内容は例年通りです。市役所に横断幕とのぼり旗を設置する予定です。手話月間の取組の在り方等を含めてご審議いただき決定したいと思います。

(委員)

取組については、大きく分けて宝塚市手話月間の周知、手話の啓発、手話の学習の３つに分かれています。内容については、例年どおりとのことですが、ご意見はありますか。

(委員)

手話のイラストはこのまま同じものを使用しますか？「宝塚」の手話のイラストを入れていただくのはいかがでしょうか。このイラストにしているのは何かお考えがありますか。紙の色も白ではさみしいように思います。

(委員)

イラストについては、簡単な挨拶で、覚えやすい、前向きになれる手話を選択していると思います。

(事務局)

このチラシは昨年度の内容ですが、今年度の内容は作成中で、出来上がり次第、皆さまにもご覧いただきます。イラストは変更する予定です。また、昨年度は手話言語の国際デーのブルーのシンボルカラーにあわせて、青色の色紙でチラシを作成しています。

(委員)

青色が良いです。

(委員)

ふれあいトーク（出前講座）は、無料ですか？また、手話を学びたいグループとなっていますが、学びたいと書かれているとハードルが高くないですか？気軽に知りたいだけの方も申込みできる感じの言葉が良いと思います。ろうあ者とは何ですかなど。

(事務局)

無料で講師を派遣しますので明記します。

(委員)

せっかく、無料で派遣できるなら、無料と記載した方が良いでしょう。

(委員)

１０人以上でないと申込できないのですか？

(事務局)

市民相談課が所管しているふれあいトーク（出前講座）の基準が概ね10人以上としていますが、7～8人の申込みでも調整できると思います。

(委員)

ふれあいトーク（出前講座）について、どのような制度か教えてください。

(事務局)

市民相談課が取りまとめを行っていますが、各課それぞれに事業の概要の説明や、事業展開にあたって、いくつかのテーマを提示しています。例えば障害(がい)福祉課であれば、手話言語条例についてとか、手話を学ぼう、難聴理解について等、そこで興味のあるテーマを選んでいただき、担当者や講師が出向いて説明するというもので、無料で対応しています。

(委員)

チラシにある継続して実施している取組の「手話にふれよう！」ですが、「テレビモニターに放映」と書かれていますが、「テレビモニターにて放映中」の方が良いと思います。

(委員)

3月の手話月間中に、ピピアめふの映画館で、手話に関する映画の上映を企画していただくのは難しいですか？手話に関する映画もたくさんあるので、手話月間中に、映画館でも手話に関する上映があると市民の方にも啓発できると思います。

(事務局)

そのようなことができるかどうか、公平性が保たれることも考慮し、検討課題として提案したいと思います。

(委員)

学校では何か、手話の取組はされていますか？

(委員)

子どもたちは、「kahoot」（カフート）というアプリを使って自分たちでクイズを作っています。同じように手話のクイズを作るとか、電子媒体を使ったものなら馴染みやすく、子どもたちには良いと思います。手話に関心を持っている子どもはたくさんいます。

(委員)

手話に関するクイズを作ってみようという件についてですが、関西学院大学とGoogle、日本財団が協力して開発した「サインタウン」というアプリがあるので、そのようなものを使って子どもたちに興味を持ってもらうのも良いと思います。

(委員)

たしか以前に子どもたちに手話に関するポスターや標語の募集をしたらどうかなどの意見があったと思うのですが、どのようなになっていますか？

(委員)

夏休みの自由課題として出すのはできないですか？

(事務局)

宝塚障害福祉市民懇談会と宝塚市教育委員会事務局を加えた3者共催ですが、宝塚市障害者週間記念事業で標語や作文を募集して、審査基準を設け審査して表彰しています。

(委員)

それと同じように取り組むことはできませんか。

(事務局)

手話は言語であるとの認識で進めてきていますので、障碍(がい)というカテゴリーとは分けて、あくまでも言語であるという認識で取り組んでいきたいです。

(委員)

手話に関心のある子どもたちが、ポスターや作文、標語などに取り組んでいただき、手話言語講演会や手話言語発表会の時に表彰したら、言語であることを意識できるので、是非、検討してください。

(委員)

手話啓発ですが、展示物は市役所ですか？中央公民館ホワイエですか？西公民館や東公民館では展示しないのですか？

(事務局)

おおがかりな展示は中央公民館のホワイエですが、市役所内や西図書館、中央図書館にはチラシを掲示し、特別に手話に関する図書コーナーを設けています。

(委員)

障碍(がい)福祉課の受付窓口のボードがあります。そこに展示ができたなら窓口を待っている方に手話に関することを見ていただけたらと思います。

(委員)

窓口サービス課の前とか、市民が良く来られるところに展示を考えてはどうかと思います。

(事務局)

障碍(がい)福祉課の受付窓口のボードは、あまり展示物が多いと文字等が多すぎて、伝えたい情報が伝わらない場合があるので、掲示する方法を考えて対応したいと思います。

(委員)

今まで撮影した映像を中央公民館等で流しっぱなしにしておくことはできますか？映像がいつでも流れているのが良いと思います。

(事務局)

前回は宝塚市障害者週間記念事業で映像を作成し、手話通訳もつけて映像を流しましたが、スケジュール的にも延びたため、流す時期が手話月間と重なったことによるものですので、今年度は設営上の設備的な課題もあり予定はしていません。

(委員)

ぷらざこむとの話し合いで、宝塚ろうあ協会が、手話の啓発動画を作成する話があります。今年度の3月の手話月間には間に合いませんが、過去の講演会の映像など、今後、そういった映像を手話月間中には流しておくことも考えられるのではと思います。

(委員)

手話への理解や、簡単な挨拶等の映像で、宝塚ろうあ協会の宣伝になるようなものは組み込まないです。

(事務局)

宝塚市立中央公民館の設営上の課題もありますので、そこは相談が必要だと思います。前回の講演会の映

像等、手話月間に掲示するポスターに二次元コードがありますので、それを読み取っていただくと、ご自身の携帯で見えていただくことができます。

(事務局)

議題としてあげていませんが、令和 7 年度宝塚市手話言語発表会につきましても、ご意見をいただきたいと思います。令和 7 年度は第 5 回宝塚市手話言語発表会となります。開催にあたり、5 月頃には実行委員会を立ち上げ、手話言語施策推進会議の委員の皆さまには実行委員としてご一緒に進めていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

(委員)

皆さま、いかがですか？お引き受けいただけますか？

(委員)

はい。実行委員は、このメンバーだけですか？

(事務局)

必要に応じて、推薦いただきましたら、その方々も含めた実行委員会で進めていきたいと思っています。

(委員)

第 1 回目が 5 月とのことですが、その時にお連れすればいいですか？

(事務局)

事前に推薦されたい方を 3 月末までに、事務局までご連絡いただきたいと思います。実行委員は、交通費支給ありませんので、ボランティアでお願いしたいと思います。

(委員)

以前はどのような方が実行委員会に参加されましたか。

(事務局)

当時の宝塚ろうあ協会の会長、宝塚手話サークル連絡会会員が各 1 名ご協力いただいたと思います。できれば、5 月の実行委員会の日程も、決めたいと思います。

(委員)

実行委員として選出される方が、第 1 回目の実行委員会に参加できない場合もありますが、それでも良いですか。

(事務局)

ただいま、5 月 15 日（木）17 時～19 時と実行委員会の開催日が決まりましたので、可能な範囲で調整いただいてご参加いただけると良いと思います。場所は市役所を予定しています。

(委員)

公募による実行委員の募集はできないですか？また、学生を巻き込むことはできないですか？

(事務局)

今からですと、公募するには時間が足りないと思いますのと、公募になりますと、審査基準の要綱作成や審査会設置などが必要ですので、事務的にも検討が必要だと思います。また、学生の方に実行委員会に参加していただくというより、当日のスタッフとしてご協力いただくのは良いかと思います。

(委員)

他に何か意見はありますか？

(委員)

障害(がい)福祉課では、手話に対する理解も含め、よく対応していただいていると思っています。しかし、市役所全体でみると、手話に関心を持っていただいているのかわからないです。事業を継続して関わっていただいている課であっても、いまひとつ理解が進んでいないように思いますので、他の部署の職員も、もっと関心を持っていただくために、障害(がい)福祉課が実施する行事等にも参加していただくなど、検討していただきたいです。

(事務局)

各課の業務量の関係もあり、強制力もなくなかなか難しいと思います。啓発については努力していきたいと思います。

(事務局)

次の開催ですが、日程は令和7年(2025年)7月7日、月曜日、時間は18時30分開始。最大で20時30分、場所は市役所内会議室を予定しています。よろしくお願いいたします。

以上